

第7単元 がい数の表し方と使い方①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 10 (各5)	ア 50000 イ 48000	[知技]指定された位で四捨五入して概数を求めることができる。	四捨五入の意味と処理の仕方を確実に理解させる。
	② 10 (各5)	ア 2000000 イ 1580000		
②	① ④ (各5)	① 0に〇、4590	[知技]概数にするときの処理する位について理解している。	「〇〇の位までの概数」の場合は、そのすぐ下の位に着目することをしっかりとおさえる。
		② 7に〇、26100		
		③ 3に〇、6000		
		④ 6に〇、540000		
③	① ② (各10)	① 250、349	[知技]概数にする前のもとの数の範囲について理解している。	数直線などを用いて、概数の意味から、その範囲を考えさせる。
		② 245、ア、255、ウ (255、ウは、254、イも可) (完答)		
④	① ④ (各10)	① $9000 + 5000 = 14000$	[知技]概数を使って和差積商を見積もることができる。	上から1けたの概数にするには、上から2けための数字に着目して四捨五入すればよいことを確認し、それぞれの数を概数になおさせる。
		② $10000 - 5000 = 5000$		
		③ $8000 \times 700 = 5600000$		
		④ $80000 \div 200 = 400$		

第7単元 がい数の表し方と使い方②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	ウに〇	[思判表]見積もりの式を見て、どのように処理をして判断できるかを説明している。	実際の問題と照らし合わせて、四捨五入、切り上げ、切り捨てのそれぞれのよさを確認する。
②	イ、ウ	[思判表]概数を使った見積もりのよさをとらえている。	選択肢を実際の問題と照らし合わせて、よさを実感させるとともに、問題を解くときの見積もりの習慣化を図る。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3問	2問	1～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容	3項目とも意欲的である。	3項目ともおおむね意欲的である。	どの項目も消極的である。